

経営比較分析表（令和3年度決算）

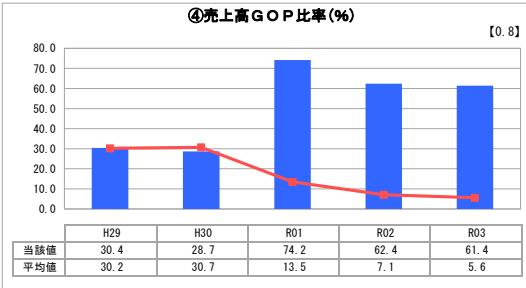
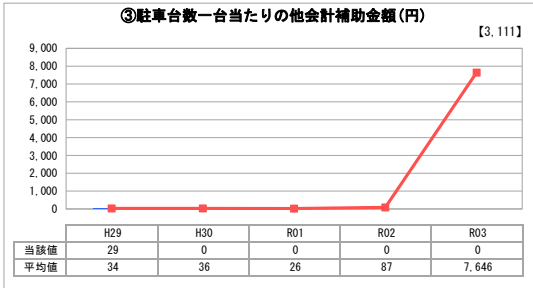
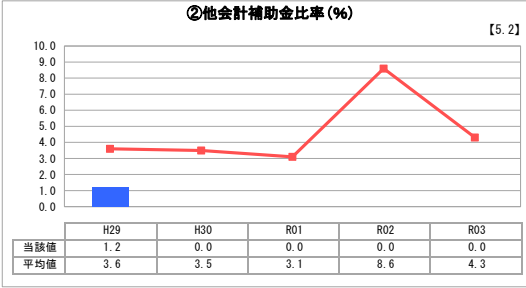
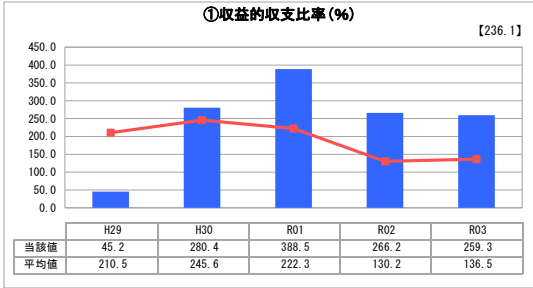
千葉県柏市 柏市市営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	22	

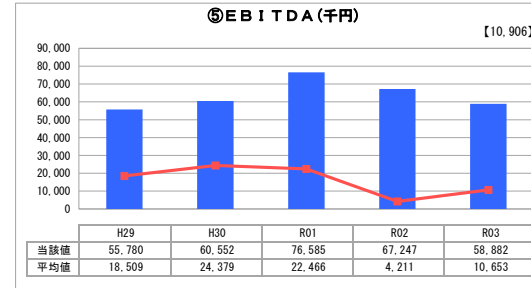
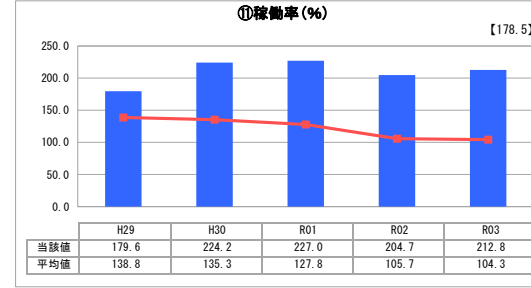
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	8,761
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
211	420	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



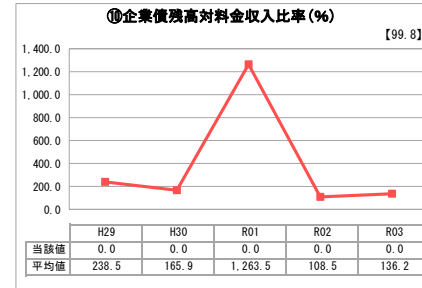
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	422,439
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
 「①収益的収支比率」は、100%以上となっていることが必要であるところ、本市は約259%であり、過去3年間を下回るが、引き続き黒字となっている。
 「②他会計補助金比率」及び「③駐車台数一台当たりの他会計補助金額」は、数値が低いことが望ましいとされているところ、償還金を全額返しているため、0%、0円である。

「④売上高GOP比率」は、数値が高いことが望ましいとされているところ、ほぼ横ばいの数値が続いていたが、令和3年度は約61%となり、令和元年度を下回ったものの、令和2年度と同水準であり、類似施設平均を大きく上回っており、高い状況である。
 継続した成長を判断する指標である「⑤EBITDA」は、数値が大きいために望ましいとされているところ、平成30年度から回復傾向にあり、令和3年度は約58,000千円となり、過去3年間を下回ったものの類似施設平均を大きく上回っており、大きい状況である。

2. 資産等の状況について
 「⑦敷地の地価」は記載している金額のとおりである。
 「⑩企業債残高対料金収入比率」は、数値が低いことが望ましいとされているところ、企業債残高は存在しないため、0%である。

駐車場の敷地は、地権者と定期借地権設定契約によって借用し、駐車場を運営しており、事業廃止、民間譲渡は現時点では困難と判断する。
 社会情勢の変化や今後の駐車場としての在り方を見極めた上で方向性を決めるとともに、当面は、駐車場として事業を行うため、老朽化に伴う大規模な修繕が必要となる。

3. 利用の状況について
 「①稼働率」は、本市においては平成29年度まで減少傾向にあった。その後、令和元年度までは微増傾向となり、令和2年度は、令和2年度と同水準となった。ただし、類似施設と比較して、数値が高いことから、安定した収容台数を確保していると判断する。

全体総括

平成30年度から、指定管理者が変更し、運営方法の変更や企業努力等により、駐車台数が増加したことから稼働率の上昇、収益が増加傾向にあり、令和元年度は、平成30年度を上回る数値となり、経営状態は安定していると判断する。
 しかし、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、令和3年度についても回復の途上にある。
 ①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDA、①稼働率について、令和2年度は、令和元年度を下回ったものの、令和3年度は、概ね令和2年度と同水準であり、類似施設と比較すると、良好な状況である。